

「審査点評価基準」に定める提案事項ごとの各委員の点数
【株式会社図書館流通センター】

提案事項	評価基準	委員採点					平均点
		A	B	C	D	E	
1事業実績							
① 事業実績	※実績報告書(様式第7号)に記載する事業を、次の基準(ア)～(ウ)に照らして評価する。 (ア)デジタルアーカイブシステムを構築する確かな技術と知見を有しているか。 (イ)公開資料の特性に応じた機能性とデザイン性に優れたデジタルアーカイブであるか。 (ウ)構築したデジタルアーカイブシステムを永続的に発展・普及させる工夫や提案をしているか。	8	8	8	10	8	8.4
2実施方針							
② コンセプト	構築方針や運用・保守の基本的な考え方が明確に示されており、優れた考え方であるか。	16	12	16	16	16	15.2
③ 経費算定	導入後の運用関連費(追加設定費、改修費、アップデートに係る費用等)を軽減する提案であるか。	24	18	24	18	18	20.4
④ 事業計画	事業全体のスケジュール、人員体制、作業内容等が具体的でありかつ実現性があるか。	12	16	16	12	12	13.6
3ウェブデザイン							
⑤ 機能表示	コンテンツやデータベースへの導入、各種機能が簡明に表示されており、かつ魅力的なデザインであるか。	12	16	16	16	12	14.4
⑥ 魅力発信	文化財を通して本市の魅力をアピールする仕組みがなされているか。	12	12	12	12	12	12
4検索機能							
⑦ 検索の種類	地図等を活用した検索機能が充実しており、かつ優れた操作性を備えているか。	24	24	24	24	24	24
⑧ 特定歴史公文書の利用促進	市民及び市職員等が特定歴史公文書を容易に検索できる工夫がなされているか。	12	16	12	16	16	14.4
5閲覧機能							
⑨ 閲覧機能	画像等のデジタルコンテンツを閲覧でき、かつ優れた操作性を備えているか。	16	16	16	16	16	16
6解説機能							
⑩ 解説	文化財の特性に応じて、その内容と魅力を分かりやすく解説することを可能にする工夫がなされているか。	12	16	16	12	12	13.6
⑪ 学校教育への応用及び図書館との連携	義務教育課程のこどもたちが市の歴史と文化財を学ぶための工夫がなされており、かつ和泉市立図書館が所蔵する郷土資料の活用を誘導するための提案がなされているか。	16	16	12	12	12	13.6
⑫ 講座等との連携	学芸員による市民講座(古文書講座等)に活用し、また講座等の成果を反映することが可能であるか。	12	16	12	12	12	12.8
⑬ 刊行物の活用	『いずみ歴史さんぽ』『和泉市の歴史』『和泉市史紀要』等の本市刊行物の成果を踏まえた提案であるか。	6	8	6	8	6	6.8
7申請補助機能							
⑭ 申請補助機能	市民が資料の閲覧等を希望する場合に、利用申請の手続きが容易となる工夫がなされているか。	16	12	12	12	12	12.8
8管理機能							
⑮ 更新機能	管理者(本市職員)がデータベースを充実させるうえで、優れた操作性を備えているか。	18	18	18	24	24	20.4
⑯ セキュリティ	機密性、完全性、可用性、真正性、信頼性が考慮されたシステム構成となっているか。	12	12	16	16	12	13.6
9運営支援体制							
⑰ 設定変更	設定の追加・変更が生じた場合、設定変更作業が容易であるか。	12	12	12	16	16	13.6
⑱ システム障害対応	システムの障害発生時等に迅速な対応ができる体制が整っているか。	6	6	8	8	6	6.8
⑲ 職員支援	操作方法等に関する本市職員向けの研修、マニュアル、問合せ窓口等のサポート体制が充実しているか。	6	6	8	6	6	6.4
⑳ 普及・充実支援	構築したシステムを市の内外に発信し、永続的に充実させるための積極的な提案がなされているか。	18	18	18	18	24	19.2
		審査点					278